

株式会社スカラ



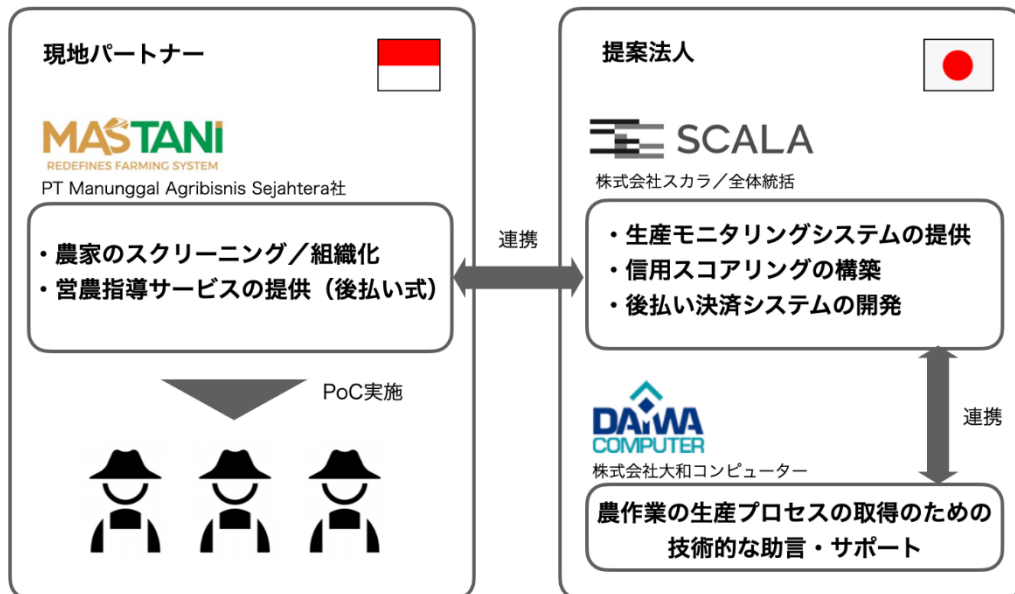
農家の信用スコアリングを軸としたデジタル農協プラットフォーム構築事業

本事業の目的

国家課題として金融包摂に取り組むインドネシアにおいて、新興の Farm Management 事業者を巻き込みながら以下を遂行する。

1. 共同提案企業が展開実績を持つシステム・サービスを統合して農家の信用スコアリングを活用した事業モデルを創出する。
2. 営農指導、資材提供、金融サービス、販売仲介などを1つのプラットフォームとして実現する。

現地企業や政府との協力・連携



現地の経済・社会課題

1. 背景

世界人口の増加トレンドは、食糧増産の必然性に直結している。農家の97%が途上国に偏在していることから、当社は約2年かけて7カ国の実態を調査し、今後更なる経済成長が確実視されているASEANを対象に新規事業の開発を行ってきた。

2. 共通課題

営農に関する「知識」と「資本」の慢性的不足。非公式な高利貸しに依存し、自己流の生産を続けざるを得ない農家を多く見てきた。農家の集合知を形成するモニタリングシステムの展開状況（写真）

3. インドネシアの概況

農家の増産にコミットして、収穫後払い方式で営農指導サービスを提供するユニークなFarm Management事業者が勃興している。彼らが形成するプロジェクト単位で営農資金を調達する動きがある。



株式会社スカラ



農家の信用スコアリングを軸としたデジタル農協プラットフォーム構築事業

実証期間

2022年9月～2024年1月

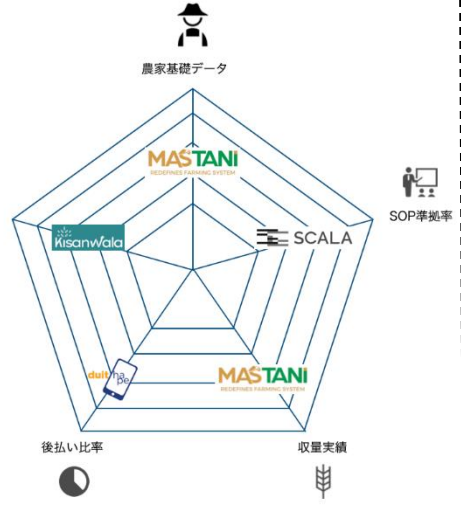
実証した内容

以下のシステム・サービスを組み合わせ.信用スコアリングを活用した事業モデルを構築し.実際に農家へ資金提供できるかを検証した。

- 1.Mastaniによる農家のスクリーニングと組織化
- 2.Mastaniによる営農指導サービス（後払い式）の提供
- 3.当社による生産モニタリングシステムの提供

信用スコアリングの基礎データを収集

- a. 農家の土地面積.保有資本.単収
- b. 営農指導（SOP）の準拠率
- c. 収穫実績
- d. 後払い債務の保有資本に対する割合
- e. 人工衛星によるリモートセンシング



事業の成果/今後の予定

1. 成果

- ・ 事業モデルの仮説検証に成功し.同時に以下も進展した。
 - a.農業保険の導入および地元保険会社との協業
 - b.Farm Management事業者が運営するプロジェクトに出資を行う「プロジェクト投資スキーム」を新たに創出した。
- ・ 64のFarm Management事業者を調査し.当社自らがパイロット投資家となって期間中に3つの事業者と合計投資額約7億ルピアのプロジェクトを立ち上げた。

2. 今後の予定

- ・ 農業CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）の立ち上げ
 - 多くの外部投資家の資本参画を促すべく.当社シンガポール現法がハブとなって.世界中の投資家にアピールを行い.インドネシアのみならずASEAN全域に向けて事業展開を加速していく。
- ・ デジタル農協基盤（Global Agri Trading Platform）の確立
 - 多様なFarm Management事業者と包括的に連携を図るため.収穫された作物を高く.大量に買い取る大口バイヤーをマッチングする販売仲介機能を拡充させる。